

第 2 回 宇部市新庁舎2期棟のあり方検討委員会 ～会議録～

日時	令和 3 年 7 月 7 日（水） 14:00～16:00	
場所	宇部市役所 4 階 第 2・3・4 委員会室	
出席者	委員会	内田委員長、脇副委員長、杉下委員、熊谷委員、宮崎委員、篠澤委員、山田委員、三浦委員 ※西尾委員欠席
	宇部市	都市整備部：小森部長、村上次長 新庁舎建設課：福田課長、元井主幹、深川副課長、田中係長、福重主任 中心市街地にぎわいグループ：渡辺課長 公共施設マネジメント課：伊藤課長

議事

(1) まちなか公共施設の今後の方向性について

【市】	別添【資料 1】に基づき説明
～質疑応答～（以下、要約）	
【委員】	勤労青少年会館とまちづくりプラザが廃止されるとのことだが、それぞれが有する機能がもれなく 2 期棟に移転されると考えていいか。
【市】	まちづくりプラザの市民活動支援機能は、2 期棟に移転する計画である。 勤労青少年会館については、利用率の高かった多目的音楽室、視聴覚室を 2 期棟に機能移転する計画としている。 2 期棟には市民活動支援機能として、会議室や音楽・ダンスのできる防音機能付スタジオ等としての活用を想定した部屋(多目的ルーム)があるため、ここに勤労青少年会館から移転する機能が包含できると考えている。 また、防音ルームは俵田体育館や u p r スタジアムにも備えており、近隣施設の貸会議室と合わせると廃止される施設の機能は賄えると考えている。
【委員】	勤労青少年会館の廃止時期は決まっているか。また、所管課はどこか。
【市】	個別施設計画のスケジュールでは R 6～7 に廃止予定となっている。 所管は、こども若者応援課である。
【委員】	勤労青少年会館のプラネタリウムなど元々の機能は廃止するのか、それとも代替機能によって維持されるのか。また、耐用年数や耐震性、耐震改修費用等を総合的に勘案したマネジメント計画に基づいた判断なのか。
【市】	耐震性がなくマネジメントの観点から廃止の方向性が示されたもの。
【委員】	勤労青少年会館の機能の一部が 2 期棟に移転するとの理解でいいか。
【市】	廃止する 2 施設の機能を全面的に 2 期棟に移転する考えではない。 資料 1 は機能が重複していないことを説明するために提示した資料である。 勤労青少年会館は建物の安全性から廃止の方針としたが、施設の機能移転については一部議論が続いている。例えばプラネタリウム機能をどうするか、これから議論を煮詰めるところであり、全てをカバーするという意味ではない。
【委員】	まちづくりプラザの機能を 2 期棟に移転するにあたり、何を移転するのかの議論はこれからするのか、それとも終えたのか。

【市】	<p>まちづくりプラザの市民活動支援機能については、庁内の調整を終えており2期棟に移転する計画としている。</p>
【委員】	<p>資料には記載がない福祉会館も廃止の方向性が示されているが、その機能移転は2期棟と関わりがないのか。</p> <p>福祉会館の廃止について利用団体から大きな反対の声が出ている。社協からもスペース的に全く余裕がなくなるとの声が出ている。</p> <p>耐震性のない施設に耐震改修を行うという選択肢がマネジメントの観点から拒否されるとの話も聞く。</p> <p>機能をどこで分担するかという点に加え、市の公共施設の再編成に対して福祉会館が反対派市民の砦になっている現状を心配している。</p> <p>昨年子育て組織を西岐波に移すという話が出た際、市民が猛反発して前市長が謝罪するということがあった。代替場所を用意せずに福祉会館を廃止すると障害関係団体の行く場所がなくなる恐れがあり、同じ状況になりかねない。</p> <p>また、まちづくりプラザから機能移転される市民活動支援機能とは、どのエリア(範囲)を指すのか。現在、青空がやっているエリアを言うのか、それとも福祉会館のボランティア活動も関わるのか。</p> <p>市民レベルでは大変な議論になっており、その点が明確にならないと本議論も進展しないのではないかと思いますので、方向性を示してほしい。</p>
【委員】	<p>マネジメント計画は国の指示により自治体の施設を維持管理するために策定するものだが、ハードのみの評価になりがちである。耐震性能、築年数等の客観的な指標で判断しているだけで、公共施設がどのような使われ方をすべきかについての全体計画は、マネジメント計画とはレベルの違う話。その点を擦り合わせている自治体は少ない。</p> <p>宇部市の状況は把握していないが、その点をしっかり考えてほしい。施設を維持管理するため、統廃合等による効率化を行うことは正しいと思うが、これまでの使われ方を将来的にどのように担保し発展させるかという視点を含めたマネジメントには到達していない。</p> <p>本日の議論とは違うが、その点を並行してやってもらいたいとの市民の心配が多くあるということが先ほどの意見と思う。</p> <p>ただ、これ以上踏み込むと本委員会の役割からずれてくるので、委員会の意見として、このような発言があったことを重く受け止めてもらいたい。</p>
【委員】	<p>市民の中に不満を残したまま2期棟を建てる形になることが一番良くない。100周年を記念した新庁舎が出来たと皆に喜んでほしい。2期棟が建設されたばかりに(福祉会館が廃止され)我々の行き場所がなくなったと思われるようなことになると非常にマイナスだと思う。(福祉会館の廃止が)決して無縁とは思っていない。</p>
【委員】	<p>検討の初期段階から関わってきたものとして、一度は消えかかった2期棟の市民活動支援機能が計画通りに復活することは素晴らしいと思うが、中身を誰が運営するか、どのような機能を作るのか、というソフト面の議論が並行して進められるべき。その点が進んでないので最後をお願いしようと考えていた。</p>
【委員】	<p>2期棟だけの個別最適ではなく、他施設を含めた全体最適の視点で考えてほ</p>

	しい。
【委員】	旧山口井筒屋宇部店の跡地活用の議論にも関連してくるが、個別に議論がなされている印象があり、全体的な動きが市民に伝わっておらず、議論の核心が明確になっていないように思う。

(2) 新庁舎 2 期棟の見直し(案)と事業費について

【市】	別添【資料 2～6、追加資料】に基づき説明
～質疑応答～（以下、要約）	
【委員】	今回の見直しでは執務スペースが追加され、予算や設計変更に影響が出ているが、新旧庁舎の執務スペースの面積はどう変動しているのか。D×化を進めて生産性を向上させていけば、職員数は将来的に減っていくはずである。 その中で執務スペースを増やすとのことだが、新旧庁舎の執務スペースはどう変わり、追加された執務スペースをどう使うのか(常時使用か臨時使用か)など、執務スペースの必要性をお尋ねしたい。
【市】	上下水道局の水道事業の広域化を進めることを受けて下水道事業が市長部局に移管される予定である。これを契機に河川や道路部局との連携を高めるために下水道事業部局を新庁舎に入れたいと考えており、そのスペースを作るために 2 期棟の執務スペースの増設を計画した。ただし、2 期棟は市民活動支援拠点と位置付けているため、増設部分には関連部局が入ると想定している。
【委員】	資料にある附属棟とは何か。駐輪場だけではないと思うが。
【市】	附属棟には、1 期棟西側のゴミ庫・駐輪場、2 期棟西側の駐輪場、2 期棟エントランスホール東側の車寄せにある障害者等用駐車場の上屋が該当する。
【委員】	附属棟 C の駐輪場を不要と判断した根拠は。
【市】	自転車をピロティ内の両側に収めれば、附属棟 C の 26 台分は確保できる。 駐輪場の廃止により、多目的ルームの活動が広場側からも見える形にできるメリットとコスト削減を考慮し判断した。
【委員】	(宇部広場とつながる)ピロティは、まつりの時などに効果的な活用が期待できるため、駐輪場を設置するならピロティ活用の可能性を狭めることがないよう仕切り等の工夫を考えてもらいたい。
【委員】	予算の件だが、執務スペースが無ければ設計変更が不要となり増額要素がなくなるのではないか。そうすれば見直し案より大幅なコスト削減となり、事業費は相当下がると思う。執務スペースは本当に 2 期棟のこの場所に必要なのか。
【市】	屋上花壇の荷重が減ることで構造のスリム化が可能となることによる削減効果がある。そのためには設計の見直しが必要となるため、執務スペースを増設しない場合も若干の減額はあるが再設計費がゼロになるわけではない。
【委員】	屋上花壇を取りやめることで、構造を設計し直すのか。
【市】	屋上花壇に合わせて屋上庇も取りやめることで 3,800 万円程度の削減効果がある。鉄骨部分でも 5%程度縮減可能なため、1,700 万円程度の削減効果があり、設計変更により設計費以上に全体コストを削減することが可能である。

【委員】	見直し案による工事費の効果額マイナス 1.1 億円の内訳は。
【市】	屋上花壇と庇の取りやめによる削減効果が約 3,800 万円、アプローチと通路で約 2,100 万円、2階から3階に上がる屋外階段や緑化フェンスで約 700 万円、屋上花壇の防水の見直しで約 800 万円、鉄骨の構造体の縮減として約 1,700 万円、その他構造体等の見直しで合わせて約 1,400 万円。合わせて約 1.1 億円程度になると考えている。
【委員】	<p>① 2期棟を税務署の行政機能にも活用する場合、確定申告期間は市民交流スペースや会議室を市民活動で利用できなくなるのかと心配している。</p> <p>② 福祉会館の話に関連して、社協・ボランティアセンターがどうなるのかが気になっており、2期棟に備える市民活動支援機能の範囲について、社協・ボランティアセンターと市民活動センターを含めた協議で整理した上で出発しないと、いいスタートが切れないと思う。東京など「ボランティア・市民活動センター」と一組織になっている例もある。</p> <p>③ ヒストリア宇部の機能は今までと変わってくるのか。ヒストリアの会議室が2期棟の会議室と併せて同様に提供できるなら、市民活動団体の利用もしやすいが、段々と使える場所が狭まってきている印象がある。広さがイメージできないので、実際のところは分からないが、会議室も市・税務署・市民活動団体の共用となると行政利用が優先されるのではとの懸念がある。</p>
【委員】	<p>今のご意見は、本日の議題から離れるものもあるが、2期棟の中身を精査する過程で、関連する部局の意見を取りまとめ、どう折り合いをつけながら結論を出していくかが分かりにくいことにも関係しており、最後に議論したい。</p> <p>庁舎建設担当部署だけで判断ができる内容ではなく、総合戦略局や公共施設マネジメント課も交えて総合的に検討することが必要と感じる。</p>
【委員】	<p>資料2について、2期棟の災害時の活用方法がよく分かった。ボランティアや自衛隊等の災害対策支援機能を1階と2階に分けて配置することもよいと思うが、追加資料を見ると市の災害対策本部と防災情報センターが1期棟の3階に配置されていることが気になる。災害時は様々なことが輻輳するので動線はできるだけ短い方が望ましく、できれば3階から2階に下ろした方がよい。</p> <p>また、災対本部と防災情報センターを隣接させた方がいざという時に効率的に機能させることができる。もしも見直し可能なら検討してほしい。</p>
【委員】	防災関連の中身はどのようなプロセスで決定したのか。外部有識者や防災関連活動団体の意見を汲むプロセスは踏んだのか。
【市】	<p>配置について、外部の意見は訊いていない。</p> <p>配置理由は、特別室と併設する対話室(幹部が集まる部屋)が3階にあり、この対話室を有事において災害対策本部に転用するためである。</p> <p>また、防災情報センターは東側の防災危機管理課、西側の2会議室と隣接しており、会議室との可動間仕切りを撤去すれば一続きの大空間となるため、自衛隊・警察・消防等が一同に集まる会議等に活用することができる。</p> <p>階を揃えることはできなかったが、1期棟の防災拠点機能と2期棟の災害対策支援機能が繋がった施設内にあることで効果的な対策を行っていくことが可能となるよう計画したものである。</p>

【委員】	1期棟の工事はもう動かさないが、2期棟の中身はこれからなので、1期棟の内容を踏まえて、それをカバーできるよう変更すべき部分があれば検討するとよいのではないか。
【委員】	動線が十分確保できること、できるだけ短くスムーズに行くことができることを考え、検討したらいいと思う。
【委員】	全体が見えない。旧山口井筒屋宇部店関係の予算が膨大になりそうな気がするし、それを踏まえて2期棟の役割が何を指せばよいのか。総合的なマネジメントが必要と感じる。
【委員】	<p>まず1期棟の機能が見えない。現庁舎スペースより広いのか。1期棟の機能を補完するための2期棟なのか、市民活動や市民サービスのための2期棟なのか分からない。</p> <p>資料を見ると税務署が移転してきたスペースのようにも見える。</p> <p>まちづくりプラザと勤労青少年会館の廃止に伴う機能移転は大事な話であり、一番に考える必要がある。</p>
【委員】	<p>1期棟の中身について、広報等の手段を尽くし十分に市民周知しているか。</p> <p>2期棟の議論が進む中で、1期棟と2期棟の役割を市民に理解してもらう説明が必要と強く感じる。</p>
【委員】	<p>市役所の機能とまちづくりとの関連性を考えると、このまちに市役所を置くことと決めたからにはここを市のヘソとするつもりで進めてきていると思う。</p> <p>市のヘソとなるべきこのまちをどのような場所にしたいのか、コンセプトが見えにくい。それが無いから、旧山口井筒屋宇部店や旧レッドキャベツ等の色々な議論がばらばらに出てきてまとまりがつかない。</p> <p>市民の拠り所となる市役所と考えれば市民活動は重要な一部を占めている。</p> <p>行政は税金をよりたくさんとれるまちにする役目があり、その達成のためにはより良い空間づくりが必要である。市民活動団体は、そのより良い空間づくりに協力する存在なので、彼らに快適に利用してもらうための支援をするのが2期棟の位置づけだと思う。もう一度原点に立ち返り、対処療法的な個別の議論ではなく、宇部をどうするのかということを考えて取り組んでもらいたい。</p>
【委員】	<p>とても重要な指摘だと思う。</p> <p>検討初期の基本構想策定段階では、多くの市民に関わってもらい、ワークショップを行ったりしながら目指す庁舎の輪郭をまとめていった。</p> <p>1期棟は、本来なら相互のつながりを考え1階をもっと広くとりたかったと思うが、建設可能な土地の大きさが決まっていたため、その中に押し込んで建てるしかなく、1・2階と上下に窓口を積むことになったという事情がある。</p> <p>「市民協働」を本気で実践しようと思えば、市民利用の空間も必要となるが、(1期棟には叶わないので)その機能を2期棟に確保することで、お互いに支えあいながら宇部市の行政を展開していくという理念を形にしたと思っている。</p> <p>その2期棟が、一時期はなくなるかもしれないという乱暴な話を経て、元の形に戻ったことはとてもいいことと思うが、この際、各機能について更に深まった議論ができるとよい。2期棟の設計変更は既にとりかかっているのか。</p>
【市】	2期棟は1期棟と合わせて実施設計を完了しているが、今回の見直しを受け

	て方向性が決まれば、今後、予算を確保したうえで設計変更を行っていく。
【委員】	これからなら、市民の希望を反映させる余地は残されていると理解した。

(3) 今後のスケジュールについて

【市】 別添【資料7】に基づき説明

～質疑応答～（以下、要約）

【委員】	2期棟の設計変更完了と工事の入札時期はいつ頃か。
【市】	設計変更については12月補正を見込んでいるが修正の程度によっては期間が年度を跨ぐ可能性もある。 工事の発注時期は予算の承認が前提だが、令和5年2月頃を予定している。
【委員】	発注時期は、まだ1年半程度先ということか。
【委員】	2期棟の機能の見直しは可能なのか。
【市】	事務局としては今示している機能で進めたいと考えているが、変更の提案があれば検討の必要があると考えている。
【委員】	その見直し案を本委員会で示すということか。
【委員】	それは本委員会の役割ではないので無理だと思うが、これまでの検討過程をもう少し説明すると疑問も解けるのではないかと思う。 見直しの内容としては、一つは2階部分に執務空間を増設。合わせて維持管理費を削減するため屋上花壇を廃止。それにより荷重が減るので構造もスリム化し費用を削減。附属棟はピロティを代用することで廃止。 簡単にまとめると、「全体のコストダウンを図りながら一方では執務部分の床を増やし、機能は当初の計画通りに戻す。」という説明でよいか。
【市】	機能等については基本構想、基本計画、基本設計等の議論を踏まえ、最終的に市民活動支援機能、まちづくりの拠点機能が庁舎に必要であるという判断から、提示した機能と活用方法等を計画するに至った。
【委員】	勤労青少年会館の廃止に伴い、途中で機能が追加されたと認識している。 このプロジェクトとは直接関係ないのだろうが、「施設の廃止を決定するにあたって、そこにあった機能がどのように代替されるかを十分に議論しているのか？」ということや、「2期棟に追加される機能がこれだけでよいとの結論は、その十分な議論が行われた上での判断か？」ということをご委員が心配されているのだと思う。
【市】	勤労青少年会館や総合福祉会館については、宇部市の公共施設全体に関する個別施設計画の策定以前に、独自の個別施設計画を策定している。 この中で、勤労青少年会館は設立経緯や利用状況を鑑み、役割を終えた施設との整理をしており、機能移転の考え方についても示している。 公共施設は、人口減少や機能の必要性を踏まえ、需要と供給のバランスを考えながらマネジメントしているが、本当に必要なもの、例えば貸館機能については、2期棟やボスティビルドへの機能移転として整理し、プラネタリウム、天体ドームについても所管課で逐次整理している状況である。

【委員】	<p>あり方を検討するには使い勝手の議論も必要と思う。</p> <p>ハードの効率化は理解できるが、市民にとっての使い勝手の視点が抜けている気がする。</p> <p>2期棟の使い勝手については、どこで、どんな風に議論するのか。客観的に議論する予定か、それとも本委員会で機能を決定した後は市で決める予定か。</p>
【市】	<p>2期棟の活用方法については、資料2に示す通り。</p>
【委員】	<p>中心市街地活性化協議会でも、2期棟を含めた新庁舎の位置づけは、にぎわいの一大拠点になるとのことだったが、例えば市民活動支援スペースに青空が入る場合、利用が多いのは夜間や日祭日である。食堂については、この辺りに本格的なレストランがないので、それに代替する程度の水準になるのかといった議論が気になる。どのような食堂が入るかによって、市民の受け取り方が全く違うと思う。そういった議論をどこで行うのかが知りたい。本委員会が終了したら中身について議論するところはないのか。</p> <p>市民交流スペースについても、確定申告時期に税務署が全部使う、あるいは選挙時には市が使うとなると、市民はいつ使えるのか。</p> <p>ハード面についてはこの内容でいいと思うが、2期棟そのものの哲学として、市民ファーストの視点がどう入ってくるのかが議論されないままで、出来た後に使い勝手が悪ければ、この委員会で市民代表として「何を議論していたのか」と言われかねない。</p>
【市】	<p>資料2については、活用方法の提案をまとめたものである。各機能の運営方法や使い勝手については、今後、実際に関連する活動に携わっている方々等のニーズを確認しながら一つずつ解決していきたいと考えている。</p>
【委員】	<p>余談だが、新山口にできた素晴らしい施設について、施設のオフィス利用者から新しく気持ちが良いものの使い勝手が悪いと聞いた。例えば、施設内のサインがデザインに凝りすぎて何のサインか分からないようである。</p>
【市】	<p>綺麗に凝ったデザインも大事とは思いますが独創的になりすぎないように、ユニバーサルデザインについて障害者団体等の意見を踏まえて検討したい。</p>
【委員】	<p>重要なのは市民である。運営開始後はかなりの部分の役割を市民が担うことになるので、そのような人達に早い段階から色々な意見を出してもらい意欲的に利用してもらえる市民を何人発掘できるかが一番重要。</p> <p>2期棟に導入する市民活動支援機能は、市民が積極的に利用してくれるような状況にしなければ維持できない。</p> <p>全国的に庁舎の建替えが進んでいるが市民活動支援機能を備える庁舎はほとんどなく、これを推進できるのは宇部しかない。宇部市民は市民活動への意識が高いので、行政からこの方達に対する協働参画への問いかけが必要と感じているし、足りていないと思う。</p> <p>2期棟をどのように作り、どのように使うかが大事であり、それが上手く行けば近隣に誇れる市役所ができるし、その入口まで来ている。</p> <p>本委員会も重要だが、実働部隊の委員会＝2期棟を実際に活用していく人たちの運営組織が作れないものか。</p> <p>市民活動センターをはじめ、市内には防災関係や環境関係など様々に優れた</p>

	<p>団体がある。これらの人たちをつないでいく緩やかなプラットフォームが2期棟をきっかけに作られないとダメだと思う。</p> <p>庁舎建設担当部署の仕事ではなく、市民活動担当部署や総合戦略局の仕事かもしれないが検討してもらいたい。</p>
【委員】	<p>① 今の想いを聞き、そのとおりでなと思った。他市の新庁舎を色々見てきたが、確かにこのような機能はないところが多い。是非実現してほしい。</p> <p>② 旧山口井筒屋宇部店と2期庁舎については、互いに機能を補完・分担する関係にあると理解していたが、資料7を見るとそれぞれが独立して動いているように見える。関連性が分かるように表現した方がよいのではないか。</p>
【委員】	<p>旧山口井筒屋宇部店については、サウンディング調査の結果を見ると、マンションやドラッグストアの案が追加された程度で、否決されたトキスマの案とほぼ機能・内容は変わっていなかった。</p>
【市】	<p>「ゼロベースの検討」を意識していたため慎重に検討を行っているところだが、実質的には機能も時期も関連している。建物同士の点と点だけでなく、それらをつなぐ常盤通りの整備も合わせて行いたいと考えているので、今後の事業の進捗度合いを見ながら関連が分かり易い資料にしていきたい。</p>
【委員】	<p>旧山口井筒屋宇部店のサウンディングは総合戦略局の担当か。</p> <p>サウンディングの成果と2期棟の中身に関する擦り合わせはしたのか。</p>
【市】	<p>旧山口井筒屋宇部店は総合戦略局が担当であるが、市議会のにぎわい創出特別委員会では新庁舎とトキスマが対象となるので情報を共有した上で臨んでいる。新庁舎の予定がある上でトキスマの予定がある訳で、個別に進めることはないので、安心してもらいたい。</p>
【委員】	<p>トキスマは、ある段階まで計画に沿って進み、最後にひっくり返ったわけだが、その計画はどのような作業を基に積み上げられたのか。その検証がなされたのか気になっている。</p> <p>先ほどの答弁で、ゼロベースとあったが、計画はゼロベースではない。その地域、場所の潜在的な能力、魅力が何であるか。その上に立たなければ計画はできない。ゼロではなく、「この場所だからこうだ」というものを探す作業が計画だと思う。他で成功しているから採用するでは絶対に成功しない。</p> <p>宇部のまちの構造、市役所や旧レッドキャベツで行おうとしていることとの関係、そのような中から答えを探す作業が計画であると思うので、色々な人が関わった方がよい。</p> <p>担当部署だけではなく、色々な角度、市民の意見を積み上げないと回答は見えてこない。それを2期棟とも擦り合わせて行くと役割分担や連携ができてくる。この先60年以上つづく施設なので、今この機会しかない。</p>
【委員】	<p>① 使い勝手のニーズが本当に大事。市民活動センターを立ち上げた時も、そこを大事にしてきた。スペースを備えても、使い勝手が悪いせいで人が集まってこなければ意味がない。</p> <p>② 勤労青少年会館が機能としては終わったと言われればその通りとも思うが、貸館としては利用されている。福祉会館に至っては更に利用者も多く、貸館としては一番利用されている中で、その二つがなくなるというのが本当に大</p>

	<p>きく、どう補っていくかを考えるべき。</p> <p>特に福祉会館に入っている社協のボランティア協議会、ボランティアセンターの移転先については、市民感情をこじらせないように配慮すべき。</p> <p>市民活動センターとボランティア協議会、ボランティアセンターとは、同じ市民活動団体なので、協力してやっていこうというときに移転先の問題に差がつくような状態は厳しい。</p>
【委員】	<p>地域の福祉をどう考えるか、福祉会館で担っていた機能をどうしていくかという議論はどうしていくのか。</p>
【市】	<p>総合福祉会館については廃止の方向性を示している。個別計画に掲載のとおり隣接の類似施設(多世代ふれあいセンター)に機能移転することとしている。</p> <p>両施設の関連団体については、意向調査もしているが、キャパの問題もあるので、新しくなる多世代ふれあいセンターのコンセプトや設置目的を鑑み、真に必要な機能は何か、どのような団体が入るべきか等について健康福祉部で精査している段階。</p> <p>精査の結果、キャパオーバーとなったときには、一部の団体について移転のお願いをしたり、代替スペースの検討等をしていく可能性がある。</p>
【委員】	<p>2期棟が真に宇部市の市民活動支援の拠点となるのなら、その市民活動支援スペースには、青空だけでなく社協又は、社協で活動されている団体等と一緒に入れるとよいと思っている。</p> <p>多世代ふれあいセンターからあぶれた人は知りませんというのはいかがでしょうか。</p> <p>トキスマが閉店した時ですら、行き場がないと相談にこられた団体もあった。すぐではないにしろ、2つの施設を廃止することにより、活動の場がなくなるということが出てくるのであれば、対策を考えてほしい。</p>
【市】	<p>その施設の目的に照らし合わせた時に入る団体の優先順位があるという実情をご理解いただきたい。</p>
【委員】	<p>建物の維持管理や利用者の安全を確保する責任のある行政としての立場もあるかもしれない。耐震性の観点から使ってはいけないレベルの建物を利用させるわけにはいかない行政側の悩み・苦しみと、これまでどおり活動拠点を確保してほしい市民側の感情との折り合いをどうつけていくかが難しい。</p> <p>財政上の理由で新しい施設を設けることが厳しい状況において、2期棟に作られるスペースをうまく活用するために、「重ね使い」を提案したい。</p> <p>所管する部署等の垣根を取り払い、時間を区切る等、使い方の工夫で一つの場所を重複して活用する方法だが、このような工夫で限られたスペースを有効活用しなければ、これからは立ち行かなくなっているという現実がある。</p> <p>市民もそこは理解して使っていないといけないので、行政はもっとその悩みをしっかりと市民に伝えていかれるとよいと思う。結論から先に切り出すと市民の理解を得ることが難しくなってしまう。</p> <p>また、だからこそ、施設を作るときには、そのスペースを最大限有効活用できるよう市民の知恵を借りることが重要である。</p> <p>総括すると、市民活動の場が足りなくなりつつある現状に対してデリケートな状況になっているという事実が見えてきたが、それはこの委員会の役割では</p>

	ないだろう。
【委員】	しかし資料7に検討委員会の役割として、新庁舎2期棟の機能や活用方法、規模についての評価及び検討をしていただくとあり、先ほどの私の意見もその範囲にあるのではないかと思う。
【委員】	それには基本的な資料が足りないということと思う。
【委員】	次の委員会で最終結論を出すにはそこを含まないといけない。それなりの資料、考え方の提示が必要。今の担当課だけでは大変だろうから他の部署とのすり合わせ、マネジメントの問題も含めて出してもらわないと議論にならない。
【市】	庁内関係部署との協議調整を踏まえ、資料を整えて素案として提示したい。また、ここでの議論を踏まえ議会、市民等に発信できるようにしていきたい。
【委員】	<p>公共施設は、時代の変化とともに求められるものが変わってくるし、変わっていかねばならないものである。そのことも踏まえ、第3回に向けて、</p> <p>① 市民活動支援スペース・市民交流スペースの機能・役割、3つある多目的ルームと青少年会館との関連等の資料</p> <p>② 機能や活用方法の決定に至るまでの経緯、判断の根拠、行政側が抱える悩み、問題点を差し支えない範囲で示した資料</p> <p>③ 別途検討が進んでいるトキスマ等の動きに関する資料</p> <p>等を用意していただけるといいと思う。</p> <p>正直に言って、新庁舎建設課だけでは絶対に難しい話だと思うので、総合戦略局や公共施設マネジメント課等にも協力してもらい資料を作成してほしい。</p>
【市】	関連部署と協力しながら対応していきたい。